

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理病態論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202,203
担 当 教 員	土井 久也	実務経験と その関連資格	神戸大学医学部附属病院麻酔科医学研究員として在籍中			
《科目目標》						
人体の構造と機能において正常から逸脱する場合の症状・症候のメカニズムに共通する現象を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】小テスト20％、終講試験80％ 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 3巻 病態生理学 メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業にあたり予習・復習を行い理解を深める						
《履修に当たっての留意点》						
本科目では、人体の構造と機能において正常から逸脱する場合のさまざまな症状・徴候のメカニズムに共通する現象を学ぶ。病態治療や症状・状態別看護を学ぶ基礎となる科目である。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害について理解する		テキスト プロジェクター	テキストの該当ページを事前に読んでおく。 毎回の学習内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	充血、うつ血、出血、血栓症、塞栓症、梗塞、側副循環			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症と修復・免疫と免疫疾患について理解する		テキスト プロジェクター	テキストの該当ページを事前に読んでおく。 毎回の学習内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	炎症徴候(発赤・腫脹・発熱・疼痛・機能障害) 修復の過程 免疫の働き アレルギー・自己免疫疾患			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	変性・壊死・萎縮・老化について理解する		テキスト プロジェクター	テキストの該当ページを事前に読んでおく。 毎回の学習内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	変性、壊死、アポトーシス、萎縮、肥大と過形成、化生、老化			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍と過形成について理解する		テキスト プロジェクター	テキストの該当ページを事前に読んでおく。 毎回の学習内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	細胞の増殖と腫瘍、アポトーシス、分化度と異型度 良性と悪性腫瘍、癌と肉腫 癌の進展・転移(血行性・リンパ行性・播種性転移)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天異常について理解する		テキスト プロジェクター	テキストの該当ページを事前に読んでおく。 毎回の学習内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	先天異常の分類			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝異常について理解する	テキスト プロジェクター	テキストの該当ページを事前に読んでおく。毎回の学習内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	糖質代謝 脂質代謝 たんぱく質代謝 核酸・ビタミンなどの代謝		
第 7 回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の死について理解する	テキスト プロジェクター	テキストの該当ページを事前に読んでおく。毎回の学習内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	死の三徴候 脳死の判定基準		
第 8 回	講義形式	授業を通じての到達目標	終講試験		
		各コマにおける授業予定	終講試験		